



東京産業保健総合支援センター研修案内(令和2年7月)

◇研修のお申し込みは、当センターのホームページから直接申し込むことができます。

◇当センターが主催する研修は、すべて無料で受講できます。

◇研修は当センターの研修室で開催しています。会場が異なる場合は表記いたしますのでご注意ください。

〒102-0075 東京都千代田区三番町6-14 日本生命三番町ビル3F TEL:03-5211-4480 FAX:03-5211-4485

URL=<https://www.tokyos.johas.go.jp>

◆認定産業医研修◆

※基礎研修は実施しておりません。認定証をお持ちの産業医の方が対象の研修です。

日時	テーマ	講師	単位	定員
7月10日(金) 13:30~16:30	作業環境測定方法 本研修は、産業医が毎月1回行うことになっている「職場巡視に役立てる」を主眼に、「デジタル粉じん計」や有機溶剤等有害ガスや事務所の一酸化炭素測定に用いられる「検知管」それに局所排気装置の性能検査で使われる「スモークテスター」「熱線風速計」等の実習を行います。	市川 英一 岩崎 毅	生涯・ 実地 ³	16
7月16日(木) 14:00~16:00	事業場における治療と仕事の両立支援 がんやメンタルヘルス不調などに罹患した従業員を健康面、人事面からしっかりサポートし治療と就業の両立をはかることは、本人にとっても会社にとっても有意義な取り組みです。本研修では、この両立支援を行う産業医がキーパーソンとしてどのような対応を行うのかを一緒に学びたいと思います。	内田 和彦	生涯・ 専門 ²	24
7月17日(金) 14:00~16:00	産業医が知っておくべき労働基準関連法～労働基準法と労災保険法を中心に～ 昨年の働き方改革関連法において労働基準法の中に長時間労働者の健康確保対策が盛り込まれるなど、産業医は労働時間制度だけではなく労働基準法に関して幅広い知識を必要とされるようになっていきます。また、例えば過重労働等による健康障害で労災という場面を考えれば労災保険制度等の基本的な知識も必要です。今回は労働基準法と労災保険法を中心に、産業医が知っておくべき労働基準法に関連する法律について解説をします。	中山 篤	生涯・ 更新 ²	24
7月21日(火) 14:00~16:00	働き方改革と快適職場～産業保健に関する最新のトピックスについて解説します～ ソフト面の快適職場づくりの考え方について解説します。また、産業保健に関する最新のトピックスについても解説します。	古山 善一	生涯・ 更新 ²	24

◆保健師・看護師研修◆

日時	テーマ	講師	単位	定員
7月8日(水) 14:00～15:15	<p>労働衛生管理の基礎と事例～ハラスメントを発生させない為の快適職場環境の形成について～</p> <p>基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、二部構成で実施します。第一部でテーマの法律面・現場の実務面の説明をします。第二部で各企業における「ハラスメントを発生させない為の快適職場環境の形成について」について「知る、聞く、話す」を基に簡単なセッション(グループワーク)を行います。(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p> <p>◆重要◆コロナウィルス感染拡大防止のため、グループワークは中止とし、研修時間を短縮しました。</p>	吉田 守	単位なし	10
7月9日(木) 14:00～16:00	<p>労働安全衛生管理基礎講座①</p> <p>「労働安全衛生法」の中で労働者の健康管理(衛生管理)に関連する条文は数多くあり、また、付随する規則類も多岐にわたります。本講座はではテキストに当センター発行「令和元年度版労働衛生のハンドブック」を使用し、法令に基づく労働衛生管理の基礎について7月から毎月4回に分けてわかりやすく解説します。また労働衛生に関する最新の動向もご紹介いたします。今回はその1回目で、労働安全衛生法とは？その中には何が書かれているのかなど労働安全衛生法及び関係する諸規則等の全般について解説します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2回目は、安全衛生管理体制、健康診断等健康管理等 ・3回目は、心と身体の健康づくり(メンタルヘルス、過重労働による健康障害防止対策を含む)、職業性疾病等 ・4回目は、快適職場、作業環境測定等の他、過重労働による健康障害防止対策にとって重要な労働基準法(労働時間管理関係)を予定しています。 <p>なお、「令和元年度版労働衛生のハンドブック」をお持ちの方はご持参ください(お持ちでない方は当日差上げます)。(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	中山 篤	単位なし	12
7月13日(月) 14:00～16:00	<p>働く人の健康づくりは日常生活の動作改善から～「転倒防止」「腰痛・肩こり予防」～</p> <p>働く人の身体機能低下による「腰痛」「肩こり」の慢性化、「転倒」などの労働災害が増加しています。この講習会では、関節などにふれながら骨、筋肉、関節を連動して動かす「骨ストレッチ」を紹介していきます。骨ストレッチを行うと、日常生活の動作の筋肉への負担が減り、楽に動けるようになるので「腰痛」「肩こり」などの予防になります。また、骨・筋肉・関節が連動して動くので脚も上がりやすくなり、「転倒」災害の防止につながります。実技を交えながらの講習会ですが、普段着で年齢に関係なく、誰でもその場で簡単に実施できます。また、職場で無理なく展開できる方法について紹介しますので、この機会に体験していただき職場の健康づくりに役立てていただきたいと思います。(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p> <p>◆重要◆マスク着用で体を動かしますので、水分補給のため、飲み物をご持参ください。</p>	<p>スポーツケア 整体研究所 (株) 小沼 博子</p>	単位なし	12
7月14日(火) 14:00～16:00	<p>新型うつ、適応障害、発達障害、いわゆる「グレーゾーン」とどうつきあうか、育て直しの職場コミュニケーションを考える</p> <p>新型うつ、適応障害、発達障害など職場の不適応は軽症化するものの多様化が進んでいる。診断がつくほどではないが(弱い疾病性)、症状が隠れていて本人も周囲も気づきにくい困っている(強い事例性)ケースに職場はどうつきあっていけばいいのか。コミュニケーションの取り方を変えて「育て直し」していくことを考えていきます。(研修の内容は前回開催(令和2年1月14日)と同内容です。)(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p> <p>◆重要◆コロナウィルス感染拡大防止のため、グループワークは中止とし、研修時間を短縮しました。</p>	廣川 進	単位なし	12

<p>7月15日(水)</p> <p>14:00~16:00</p>	<p>高齢労働者の安全衛生対策の進め方～身体機能・安全衛生の現状とエイジフレンドリーガイドライン～</p> <p>職場で働く高齢労働者が増加しています。高齢者の労働災害の発生率は若年者よりも高く、休業期間も長くなる傾向があります。高齢者の身体機能は壮年者と比較すると低下が見られ、このことが、高齢者の発生率の高い転倒、墜落・転落災害の発生に影響していると考えられています。また、定期健康診断における有所見率は高齢になると高くなっています。厚生労働省は、高齢労働者が安心して安全に働ける職場環境づくりや高齢労働者の健康づくりを推進するため、令和2年3月に「高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン(エイジフレンドリーガイドライン)」を公表しました。このような現状とガイドラインの要点について解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	<p>荒川 輝雄</p>	<p>単位なし</p>	<p>12</p>
<p>7月20日(月)</p> <p>14:00~16:00</p>	<p>事例に基づくメンタルヘルス不調者支援 早期発見を周知、自己発見しての成長を目指して</p> <p>休職に至る状況は様々ですが、やはりその時間は本人にとって必要な時と実感しております。そのような状況から復帰するまでの手順等も含めて、事例を通して考えてみましょう。自己成長する、休職の意味を考え、再構築するご自身との向き合い方のできる、ディセント・ワークを目指す支援を考えられるとうれしいですね。一緒に検討しましょう。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	<p>菅野 由喜子</p>	<p>単位なし</p>	<p>12</p>

◆人事・労務・衛生管理者研修◆

日時	テーマ	講師	定員
7月6日(月) 14:00～16:30	<p>がんをもつ労働者と職場へのより良い支援のために ～治療と就労のバランスを支えるヒント～</p> <p>今回の研修では、近年増えているがんをもつ労働者が、治療と就労のバランスをとれるようにすることを目指して、どのような支援が望まれるか、どのように支援を進めるかについて、事例検討を含めて学びます。 ※本研修ではグループワークを行います。 ※本研修の研修時間は2.5時間(午後2時00分～午後4時30分)です。</p> <p>◆重要◆コロナウイルス感染拡大防止のため、グループワークは個人ワークに変更いたします。</p>	<p>佐々木 美奈子 社会保険労務士 本山 恭子</p>	24
7月8日(水) 14:00～15:15	<p>労働衛生管理の基礎と事例～ハラスメントを発生させない為の快適職場環境の形成について～</p> <p>基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、二部構成で実施します。第一部でテーマの法律面・現場の実務面の説明をします。 第二部で各企業における「ハラスメントを発生させない為の快適職場環境の形成について」について「知る、聞く、話す」を基に簡単なセッション(グループワーク)を行います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p> <p>◆重要◆コロナウイルス感染拡大防止のため、グループワークは中止とし、研修時間を短縮しました。</p>	吉田 守	14
7月9日(木) 14:00～16:00	<p>労働安全衛生管理基礎講座①</p> <p>「労働安全衛生法」の中で労働者の健康管理(衛生管理)に関連する条文は数多くあり、また、付随する規則類も多岐にわたります。 本講座はではテキストに当センター発行「令和元年度版労働衛生のハンドブック」を使用し、法令に基づく労働衛生管理の基礎について7月から毎月4回に分けてわかりやすく解説します。また労働衛生に関する最新の動向もご紹介します。 今回はその1回目で、労働安全衛生法とは？その中には何が書かれているのかなど労働安全衛生法及び関係する諸規則等の全般について解説します。 ・2回目は、安全衛生管理体制、健康診断等健康管理等 ・3回目は、心と身体の健康づくり(メンタルヘルス、過重労働による健康障害防止対策を含む)、職業性疾病等 ・4回目は、快適職場、作業環境測定等の他、過重労働による健康障害防止対策にとって重要な労働基準法(労働時間管理関係)を予定しています。 なお、「令和元年度版労働衛生のハンドブック」をお持ちの方はご持参ください(お持ちでない方は当日差上げます)。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	中山 篤	12
7月13日(月) 14:00～16:00	<p>働く人の健康づくりは日常生活の動作改善から ～「転倒防止」「腰痛・肩こり予防」～</p> <p>働く人の身体機能低下による「腰痛」「肩こり」の慢性化、「転倒」などの労働災害が増加しています。 この講習会では、関節などにふれながら骨、筋肉、関節を連動して動かす「骨ストレッチ」を紹介していきます。骨ストレッチを行うと、日常生活の動作の筋肉への負担が減り、楽に動けるようになるので「腰痛」「肩こり」などの予防になります。また、骨・筋肉・関節が連動して動くので脚も上がりやすくなり、「転倒」災害の防止につながります。 実技を交えながらの講習会ですが、普段着で年齢に関係なく、誰でもその場で簡単に実施できます。また、職場で無理なく展開できる方法について紹介しますので、この機会に体験していただき職場の健康づくりに役立てていただきたいと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p> <p>◆重要◆マスク着用で体を動かしますので、水分補給のため、飲み物をご持参ください。</p>	<p>スポーツケア 整体研究所(株) 小沼 博子</p>	12
7月14日(火) 14:00～16:00	<p>新型うつ、適応障害、発達障害、いわゆる「グレーゾーン」とどうつきあうか、育て直しの職場コミュニケーションを考える</p> <p>新型うつ、適応障害、発達障害など職場の不適応は軽症化するものの多様化が進んでいる。診断がつくほどではないが(弱い疾病性)、症状が隠れていて本人も周囲も気づきにくい困っている(強い事例性)ケースに職場はどうつきあっていけばいいのか。コミュニケーションの取り方を変えて「育て直し」していくことを考えていきます。 (研修の内容は前回開催(令和2年1月14日)と同内容です)。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p> <p>◆重要◆コロナウイルス感染拡大防止のため、グループワークは中止とし、研修時間を短縮しました。</p>	廣川 進	12

<p>7月15日(水)</p> <p>14:00～16:00</p>	<p>高齢労働者の安全衛生対策の進め方～身体機能・安全衛生の現状とエイジフレンドリーガイドライン～</p> <p>職場で働く高齢労働者が増加しています。高齢者の労働災害の発生率は若年者よりも高く、休業期間も長くなる傾向があります。高齢者の身体機能は壮年者と比較すると低下が見られ、このことが、高齢者の発生率の高い転倒、墜落・転落災害の発生に影響していると考えられています。また、定期健康診断における有所見率は高齢になると高くなっています。厚生労働省は、高齢労働者が安心して安全に働ける職場環境づくりや高齢労働者の健康づくりを推進するため、令和2年3月に「高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン(エイジフレンドリーガイドライン)」を公表しました。このような現状とガイドラインの要点について解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	<p>荒川 輝雄</p>	<p>12</p>
<p>7月20日(月)</p> <p>14:00～16:00</p>	<p>事例に基づくメンタルヘルス不調者支援 早期発見を周知、自己発見しての成長を目指して</p> <p>休職に至る状況は様々ですが、やはりその時間は本人にとって必要な時と実感しております。そのような状況から復帰するまでの手順等も含めて、事例を通して考えてみましょう。自己成長する、休職の意味を考え、再構築するご自身との向き合い方のできる、ディセント・ワークを目指す支援を考えられるとうれしいですね。一緒に検討しましょう。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	<p>菅野 由喜子</p>	<p>12</p>